

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員	1 能登半島地震の教訓による本市の防災対策は	<p>輝かしい年の初めの1月1日の夕方、自治会のコミュニティ無線から「今すぐ逃げてください」と緊張した声で繰り返し繰り返し放送され、テレビをつけると能登半島で地震が発生し、地震による津波が今にも襲ってくる状況であった。最大震度7で、各地で土砂崩れや津波、液状化現象、火災などにより壊滅的な打撃を受けた。新潟県上越市では津波の高さが最大5.8メートルであった。地震による災害関連死、行方不明者を含む250人余りの方々が犠牲となり、1,200人近くの方々が負傷された。今だに約1万4,600人の方々が避難生活を送り、車中泊や体育館や集会所など305か所の一次避難所に身を寄せているとの報道である。災害関連死の懸念が高まる中、国や県はインフラの普及や仮設住宅の建設を急ぐとし、2月4日から仮設住宅への入居が始まった。ただ、用地確保が難しく一気には進まないと感じた。雨や雪の降る一番寒い季節での避難生活にも疲れが見えだしているが、子どもたちの学校生活も始まりだした。一刻も早い復興を願うばかりである。そこで、</p> <p>(1) 本市の救援対応として、熊本地震ではいち早く給水車が出たと記憶している。他の自治体では技術職員が応援に駆けつけているが、今回は派遣はしないのか。</p> <p>(2) 水などの救援物資等はどうなっているのか。</p> <p>(3) 本市でできる支援は何があるか考えるか。</p> <p>(4) 今回の地震では道路、水道や送電網、港などのインフラが壊滅的で機能せず、特に水道管の復旧が遅れ、未だに給水車頼みの状況である。本市の市水道も老朽化しており、現在、配管の交換をしている状況だが、進捗状況は。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員		<p>(5) 過去にえびの地震やさつま町を含む鹿児島県北西部地震もあった。現在、県内でも甕島、長島町、霧島市、枕崎市、そして離島でも頻繁に地震が観測され、いつ大きな地震につながるか不安である。本市の避難所は地震に耐えられるのか。</p> <p>(6) 今回の避難所の対応の反省では、女性や妊産婦向けの用品や乳幼児のミルク、離乳食等の不足も指摘されている。このような女性向けの用品や水や食料品等の備蓄状況はどうか。また、本市ではプライバシーに配慮したテントも購入されているが、何個か。それを各地域の避難所に配布できるのか。</p> <p>(7) 今回被災された全ての市町は高齢化率が高く、避難所の設置数が増え、人的支援が不足したなどの反省もあった。本市も同様に高齢化率が高く、持病のある方もいる。避難所への移動や高齢者への対応など大丈夫か。</p> <p>(8) 今回の救助活動は地元消防団員の活躍が目立ったとあった。自宅も被災し大変な状況の中、消防団員として活動されたことは感謝しかない。国は消防団員の確保に取り組むとのことである。本市の消防団員の確保の状況は。</p> <p>(9) 今回の地震では全ての道路が寸断され、他からの救援が入れず、隣近所の方々の救出活動で命が救われたとあり、自助、共助が重要とあった。市長としてどのように考察されたか。</p>		

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員	2 子ども医療費窓口負担ゼロの実現に向けて	<p>(10) 本市は大雨による防災対策はできているが、地震による防災計画はどうなっているのか。東日本大震災、熊本地震も記憶に新しい。本市に接する人吉や水俣、出水活断層帯も確認されており、マグニチュード7超が発生する可能性がある」と指摘されている。防災計画を見直しておくべきでは。</p> <p>伊佐市の子ども医療費の助成については、子育て支援として現市長において、自動償還払い方式ではあるが、令和4年1月1日から住民税の課税世帯においても中学3年生まで拡充とされた。永い期間での要望であった。県においても塩田知事は昨年の6月19日の県議会において、「子ども医療費の窓口負担の見直しを検討し、本年度までに方向性を示す」と答弁されたが、具体的な実施時期などの提示はなされていない。そこで、令和6年1月15日に「子ども医療費窓口負担ゼロ実現に向けて」県内の議員たちと塩田知事へ申入れを行った。窓口負担ゼロの「現物給付方式」を導入していないのは全国で鹿児島県だけであり、「課税世帯の未就学児」は対象外となっている。19日の定例会見で「現物給付方式」について「課税世帯」まで広げること検討している、と明らかにした。一歩前進し子育て支援に大きな拍車となった。このことを受け市長の見解は。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	武本 進一議員	<p>1 デジタル障害者手帳の導入を</p> <p>2 地震等の災害時における水道管の断水対策について</p>	<p>(1) 障害者手帳を所持している方について伺う。 ア 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を所持している人数。 イ 破損や紛失などで再発行した件数。 ウ 再発行後の問題があった場合の対応。</p> <p>(2) 障害者手帳を提示することで減免や割引及び使用料の免除を受けられる公共施設等はどのようなものがあるか。</p> <p>(3) スマートフォンで障害者手帳をデジタル化することができる「ミライロID」を導入してはどうか。</p> <p>(1) 本市の水道管の総延長を伺う。</p> <p>(2) 日頃から各家庭や企業等に大切な水を届けているが、水道管の老朽化について見解を伺う。</p> <p>(3) 水道管を含む水道施設の耐震化の現状と課題をどのように分析しているか。</p> <p>(4) 地震などの緊急を要する災害に備えて、水道管を含む水道施設の断水対策と耐震化計画について伺う。</p> <p>(5) 水道事業のこれからの展望について市長の見解を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	星野 元興議員	<p>1 若年者交通弱者対策について</p> <p>2 名札着用について (カスハラ・防犯の観点から)</p>	<p>(1) 若年者の交通弱者の現状について 交通弱者は、高齢者に限ったことではない。自動車運転免許を持たない若年者、車を家族で複数台所有していない(できない)若年者もいる。 ア 若年者の交通弱者についての現状認識を伺う。 イ 今後、タクシー券の支給などの対応策は考えられないか。</p> <p>(1) カスタマーハラスメントについて カスタマーハラスメント対策の一環として、市職員名札の着用廃止もしくはフルネーム表記を中止する自治体が増えてきている。 ア カスタマーハラスメントの現状を伺う。 イ カスタマーハラスメント対策をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 小中学生の登下校時の防犯対策について 小中学生の登下校時の防犯対策から、登下校時の名札着用を禁止する学校も多い。 ア 登下校時の名札着用について防犯対策の観点からの現状認識を伺う。 イ 伊佐市においても対応が必要だと考えるがどうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	庵下 信一議員	1 自治会の設立状況と行政の対応について	<p>(1) 自治会を解散した地域の数と自治会の設立数・設立割合(%)、加入率について伺う。</p> <p>(2) 平成20年の合併時と令和5年度の比較(推移)について伺う。</p> <p>(3) 限界集落について ア 合併当時から現在までに解散した自治会のうち、限界集落を理由に解散した数は。また、存続する自治会の中で限界集落数は。 イ この現状を市長はどのように捉えているか。</p> <p>(4) 自治会の役割を受けて、今後の自治会の維持対策とあるべき姿について伺う。</p>	市長	
		2 新庁舎建設関連について	<p>(1) 市民説明会の開催前に一般競争入札を公告したのはなぜか。</p> <p>(2) 入札公告にある庁舎・ふれあいセンター面積とこれまで説明されてきた庁舎・ふれあいセンター面積との相違について伺う。</p> <p>(3) 入札公告で示された36億7,000万円の詳細内容について伺う。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	庵下 信一議員	3 大谷翔平選手から寄贈された野球グローブの意義と活用について	(1) 伊佐市にはいつ届き、小学校にはいつ届けられたのか。 (2) 子どもたちの反応は。 (3) 野球（ソフトボール）の活動のある小学校は。 (4) 活動のある学校、ない学校での活用法は。 (5) 大谷選手のグローブ寄贈を受けて、これからの教育にどのように活かすのか。	教育長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	岩元 努議員	1 施政方針を問う	<p>(1) 基本目標5「活力ある産業と賑わいのあるまち」の農業において、伊佐米をはじめとする品質の高い農産物の生産に関係機関と連携して取り組み、伊佐産品のブランド化を推進するとあるが、具体内容は。</p> <p>ア ブランド化を推進する商品名は何か。現在の生産量・生産額に対して売上目標と海外輸出の検討は。</p> <p>イ 品質管理、原材料の選定と管理、生産技術の向上、ブランド認証の取得、市場調査と顧客のフィードバック等、どのように実効性を高めていくのか。</p> <p>ウ 地域計画策定の現状及び今後の課題は。</p> <p>エ 後継者や担い手不足、高齢化に加えて、耕作放棄地の問題に対する取組について見解を示せ。</p> <p>オ 農地の集積化と集約化を進める上で見えている課題は何か。</p> <p>カ 高齢化が進む中山間地域で耕作放棄地を増やすより、田畑を森に還そうという声もあるが見解は。</p> <p>キ 鳥獣被害防止計画の内容と、ジビエ等の普及啓発の取組の具体策は。</p> <p>(2) 商工業において、サンキョーミート株式会社、株式会社サイコックスの従業員確保の現状と具体的な支援策は。</p> <p>(3) 台湾との交流事業は、観光客の誘致や企業誘致など経済効果につながる交流内容となったのか。</p> <p>(4) 移住・定住の推進について、首都圏でのPRや移住希望者の多様なニーズに応えるとあるが、空き家バンクも有効な手段である。滞在期間の移住体験住宅の一週間無料宿泊プランなど新たな取組の考えは。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	1 男性の育休取得について	<p>(1) 令和5年6月に閣議決定された「こども未来戦略方針」には、「少子化は、我が国が直面する、最大の危機」「若年人口が急激に減少する2030年までが日本のラストチャンス」「我が国の持てる力を総動員し、少子化対策と経済成長実現に不退転の決意で取り組まなければならない」と記されている。伊佐市における少子化について市としての見解を伺う。</p> <p>(2) 昨年3月議会の答弁で、令和元年～4年に生まれた子どもの数は元年と2年が164人、3年146人、4年122人であり、前年比率は令和2年±0、3年-11%、4年-16.4%とのことであった。令和5年に生まれた子どもの数、及び令和4年、令和元年と比較した減少率は。</p> <p>(3) 男性職員育休取得率の目標値について ア 同じく昨年3月議会で、「市は、男性が育休を取得することは子育てしやすいまちづくりのために重要であると考えている」との答弁があった。続けて、令和2～7年度の特定事業主行動計画における男性職員育休取得率の目標値がわずか10%に設定されていることについて、当時の国の目標値と同じ30%まで引き上げることの検討は必要との答弁もされた。 その後、「こども未来戦略方針」において男性育休の政府目標が引き上げられたことを受け、総務省から「すでに数値目標を設定している団体を含め、新たな目標設定を行っていただきたい。令和5年10月を目途に数値目標の設定状況について調査を実施する予定である」との通知がなされている。市は数値目標について検討し、引き上げたのか。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員		<p>イ 同じく取得目標値が10%とされ、「社会、経済環境の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う」と明記されている第2次伊佐市男女共同参画基本計画（期間：令和3～12年度）の見直しについてはどうか。</p> <p>(4) 「こども未来戦略方針」により、男性育休の政府目標はそれまでの「令和7年度までに30%」から、一般行政部門の公務員は2025年までに1週間以上で取得率85%、2030年までに2週間以上で85%へと、先行的に前倒しが進められている（民間企業は25年までに50%、30年までに85%）。また、令和5年度から取得率実績の調査があり、市町村別の結果が公表される予定とのことである。</p> <p>令和2～4年度の市職員の育休取得率は女性100%に対し男性0%とのことであったが、市としては意識改革、マネジメントの工夫、代替職員の対応など、育休が取得しやすい環境づくりに向けて前年度よりも取組が進んだか。令和5年度の職員の男女別育休取得対象者数はそれぞれ何人で、取得率は何%であったか。</p> <p>(5) 厚生労働省の調査によると、企業で働く男性が実際に育休を取得しなかった理由は、収入を減らしたくない（4割）、会社や上司、職場の育休取得への理解がなかった（取得しづらい雰囲気を含む）、自分にしかできない仕事・担当がある、残業が多いなど業務が繁忙（それぞれ2割）とあり、制度はあっても利用しづらい職場環境が存在していることが伺われる。男性が家事・育児をする時間が長いほど生まれる子どもの数は増えるという調査結果も公表されているが、民間事業所も含めて市全体で「男性育休は当たり前」の子育てしやすいまちを実現するために、市として今後どう取り組んでいくのか。</p>		

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	2 新庁舎建設について	<p>(1) 市民説明会を終えて、市としては新庁舎建設に関し市民の理解ほどの程度得られているとの感触を持ったか。今後は市民説明会の予定はないのか。</p> <p>(2) 現庁舎の解体について、今後の予定を費用（現時点で不明ならその判明時期）とともに示されたい。</p> <p>(3) 新庁舎及び改修後のふれあいセンターの建物全体としての断熱性及び消費エネルギー量削減目標について説明を求める。特に、ふれあいセンターはアトリウム空調が効かないことが問題視されていたが、改修後は問題は解決されるのか。</p> <p>(4) 屋上に設置するソーラーパネルの発電量はどの程度なのか。災害時のバックアップとして十分な発電量のあるソーラーパネルを増設してはどうか。</p> <p>(5) 庁舎建設は今後二度とない規模の大型事業であるが、人口が減少し財政規模が縮小しても財政的には問題がないこと、市民生活に悪影響は生じないことを市民に理解してもらうために中長期財政計画をホームページ上で公開すべきと考える。市の見解を伺う。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員	3 能登半島地震発生を受けて、防災・減災について	<p>(1) 震災や水害で市が想定している最悪の事態はどのようなものか。最悪の想定は市民と共有されていると言えるか。</p> <p>(2) 空調設備のない避難所はどこか。避難先に空調設備がないと、特に高齢者や持病のある人たちは暑さや寒さで災害関連死の恐れがあると言われている。災害を生き延びた命が避難所の環境が悪かったために失われることがないように、指定避難所には全て空調設備を備えるべきではないか。</p> <p>(3) 指定避難所、福祉避難所にはどのような物品が備蓄されているのか。断水でトイレが使用できないときのための災害用携帯トイレも十分な数が備蓄されているか。</p> <p>(4) 被災者の生命及び健康維持には衛生的に管理された十分な数のトイレが不可欠であるが、指定避難所のトイレは全て洋式で、手摺りが取り付けてあり、男性用より女性用の数が多く、全体として数は十分か。発災時の仮設トイレの調達は事業者との提携などがされているのか。</p> <p>(5) トイレトレーラー（1台約1,500万円、緊急防災・減災事業債で充当率100%、交付税算入率70%）を購入してはどうか。</p> <p>(6) たとえ台風時の一晩ですら雑魚寝の避難所を望む市民はいない。プライバシーと安全確保のための室内用テントや段ボールハウス、感染症と低体温を予防するための簡易ベッドや段ボールベッドを十分に備えるべきではないか。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	遠矢 寿子議員		<p>(7) 障がいのある人たちにとって福祉避難所、多目的トイレ確保の重要性はどんなに強調しても強調し過ぎということはない。現状で十分か。避難の実績はどうか。過去の災害で福祉避難所を必要とする人々及びその家族の希望や意見の聞き取りはされているか。</p> <p>(8) 防災・減災の取組や災害時の行政・地域の対応については指摘されている問題点が多めに多く、一般質問の持ち時間全部を使ったとしても到底網羅しきれない。しかし、課題への対応は平時にやっておかなければ間に合わない。減災・防災を担当する部署の職員は何名か。増員の考えはないか。</p>		

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	畑中 香子議員	1 庁舎問題について	<p>(1) 令和6年度予算でふれあいセンターのアスベスト除去とアトリウム解体費として15億8,600万円計上されており、令和8年度にはふれセンの改修費として14億6,200万円が計上されている。ふれあいセンターの大規模改修に30億円近い費用がかかり、ふれあいセンターとの一体的建設が庁舎建設費用を増大させたと考えるがどうか。</p> <p>(2) 1月の新庁舎建設工事・ふれあいセンター大規模改修工事発注に伴う一般競争入札の公告によれば増築部分は6,494.63㎡、約6,500㎡である。これまで増築部分は約6,300㎡とのことであったが面積が増えたことの説明は。 また、予定価格について36億7,064万6,000円であり、第Ⅲ期工事の35億6,500万円から、面積が増えた分よりも金額が上がっているのではないか。アスベスト除去工事や第Ⅳ期ふれあいセンター改修工事まで含むのか。</p> <p>(3) 菱刈庁舎の取扱いについて申請手続きが可能であるとの説明であるが、市民がまず相談に来られた際に親身になって市民の相談に応じることがリモートで可能か。ケースワーカーや保健師、介護の専門員などを配置するべきではないのか。 また、生活保護の申請等は申請日が重要であるが、申請書を備え菱刈庁舎でも受け付ける体制が取れるのか。生活保護など緊急の措置を要する場合の対応は。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	畑中 香子議員	2 介護保険制度について	<p>(4) これまでの市の庁舎建設計画について、市民から「80億の豪華な庁舎はいらないとほとんどの住民が思っているが、市は全く市民の意見を聞かずに進めている」「私たちが納めた税金を有無を言わず豪華庁舎につぎ込むのか」との声が上がっているが、市長は公約違反と言われても仕方がないのではないかと。</p> <p>(1) 保険料の引下げが提案されているが、10段階から13段階に相当する方にとっては保険料値上げとなる。対象の人数は。</p> <p>(2) 第9期計画で、準備基金の取崩し額が大きいが、要因は。</p> <p>(3) 介護認定者が令和5年度で1,601人とのことだが、経済的理由でサービスを受けていない人がいるか。利用料の原則2割化、または2割負担、3割負担の対象拡大が議論されており、認定を受けてもサービスが受けられないという事態になる恐れがあるが、利用料の減免制度についての考え方について見解を伺う。</p> <p>(4) 政府は訪問介護の基本報酬を引き下げる方針だが、今でも厳しい訪問介護事業者の経営をさらに苦しくすることになり、「高齢者が地域で安心して暮らすことができる」という地域包括ケアの実現を阻害するのではないかと。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち16枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	畑中 香子議員	3 生活道路改修について	<p>(1) 市民の要望で、生活道路を改修して欲しいとの要望が多い。牛尾校区の奈良野自治会は、道路状況が悪く、特に大口電子手前から奈良野自治会への入り口はコンクリートが劣化し急な坂であり、雪の日など大変危険であるが、地元の方の車が頻繁に通る道路でもあるので改修していただきたいがどうか。</p> <p>(2) 本市は生活道路の改修は基本的にむらづくり事業で行うなど、市の責任では行わない方針であるが、他の自治体では生活道路の改修は条例で定めてあり、市の責任でしっかり市民の安全を守っている。本市でもきちんと条例によって生活道路の整備を行うべきではないか。市長の見解を伺う。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち17枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	柿木原榮一議員	1 災害時の飲料水の確保対策について	<p>(1) 災害時の飲料水の確保についてどう考え、現状ではどのように備えているか伺う。</p> <p>(2) 災害時における協定を締結している企業等から、どの程度の飲料水の提供が期待できるのか。</p> <p>(3) 旧大口市の駅前地区、里南地区の区画整理で井戸はほとんどなくなった。災害等のときは、どのようにして飲料水を確保するのか。</p> <p>(4) 区画整理計画のときに協力をしたため、個人宅の井戸はもうない。生きるための飲料水確保対策のために、飲用として利用できる井戸がどのくらいあるのか調査しないのか。</p> <p>(5) 飲料水確保の議論をこれからどうしていくのか。</p> <p>(6) 災害時のための井戸の整備をしないのか。</p>	市長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち18枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	緒方 重則議員	1 活力ある学校の在り方について	<p>(1) 伊佐市教育大綱の基本目標に「伊佐らしい活力ある教育、文化の創造」とある。地域の実情に応じた活力ある教育を通して学校づくりを推進していくためのその考え方と取組について伺う。</p> <p>(2) 現状、14の小学校と2の中学校がある。特に小学校の多くは小規模校で将来的にも生徒数の増加は厳しい環境である。教育上のメリット・デメリットについて伺う。</p> <p>(3) 中長期的な判断から学校統合あるいは小規模校の存続及び地域コミュニティとの関りについてどのように考えているのか伺う。</p>	市長 教育長	

令和6年第1回定例会一般質問

令和6年2月26日・27日

(19枚のうち19枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	久保 教仁議員	1 竹林資源の有効活用を	<p>(1) ここ数年、竹林資源の活用や竹林整備事業に伊佐市では取組が見られない。合併して15年。これまでの取組の経緯と現状について伺う。</p> <p>ア 伊佐市の竹林面積はいかほどか。そのうち放置竹林は何割ほどを占めているか。</p> <p>イ 合併以降、竹林健全化事業、竹林整備事業や竹林資源活用推進事業など取り組んでいる。これらの事業で特筆すべき点を伺う。</p> <p>(2) 竹資源の活用が各地で取り組まれている。伊佐市でも、竹を活用した園芸資材や和牛の飼料などに取り組むことは考えられないか。</p> <p>ア 鹿屋農業高校が、この1月行われた「和牛甲子園」で未利用の竹を活用した取組と枝肉の高い評価で全国一を得た。また、放置竹林活用に向けて企業と連携協定を進めている県内の市もいくつかある。過疎高齢化していく地域の環境整備や竹という地域資源を活用した農畜産業の発展は考えられないか。</p>	市長	